

平成27年度第3回

## 藤島地域振興懇談会次第

平成28年2月25日 10:00  
藤島庁舎 202・203号会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 協 議

(1) 平成28年度藤島庁舎主要事業について

資料1

(2) 平成28年度地域活性化事業について

資料2

①人と環境にやさしい農業推進事業

②藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

③鶴岡伝統芸能祭開催事業

④庄内農業高等学校地域連携事業

(3) その他

4. 閉 会

## 藤島地域振興懇談会委員名簿

区分	所属	役職	氏名	備考
公共的 団体	藤島町内会長連絡協議会	会長	上田 実	
	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	田中 壽一	
	出羽商工会	会長	上野 隆一	会長
	藤島地区民生児童委員協議会	会長	丸山 克夫	
	藤島地域小中学校PTA連合会	会長	澁谷 晃	
	藤島体育協会	会長	佐藤 耕喜	
	藤島老人クラブ連合会	会長	鈴木 紀生	
	藤島地域婦人会	会長	高山千代子	
	出羽商工会女性部藤島支部	支部長	五十嵐笑智子	
	庄内たがわ農業協同組合藤島支所女性部	部長	小野寺菊子	
	鶴岡市消防団藤島方面隊	隊長	富樫 正明	
	因幡堰土地改良区	理事長	富樫 達喜	副会長
有識者	公募委員		相馬 大	
	公募委員		奥山 康光	
	公募委員		佐藤 二美	

任期：平成27年7月3日から平成29年3月31日まで

## 市職員出席者名簿

平成27年度第3回（平成28年2月25日）

所属	役職	氏名	備考
藤島庁舎	支所長	佐藤 正規	
藤島庁舎 総務企画課	課長	丸山 隆逸	
藤島庁舎 市民福祉課	課長	叶野 明美	
藤島庁舎 産業課	課長兼エコタウン 室長	東海林良哉	
建設部 東部建設事務室	室長	太田 実	
企画部 地域振興課	地域振興専門員	齋藤 芳	
藤島庁舎 総務企画課	課長補佐兼総務地 域振興主査	井上 克浩	
藤島庁舎 総務企画課	総務地域振興専門 員	鈴木 理恵	
藤島庁舎 総務企画課	専門員	叶野 進	

平成27年度第3回  
藤島地域振興懇談会席次

会 長



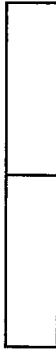
入  
口

富樫 正明 委員

富樫 達喜 委員

奥山 康光 委員

佐藤 二美 委員

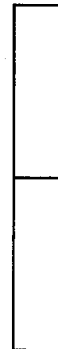


上田 実 委員

田中 壽一 委員

丸山 克夫 委員

高山千代子 委員



産業課長	支所長	市民福祉課長	東部建設事務室長
------	-----	--------	----------

東海林良哉 佐藤正規 叶野明美 太田 実

専門員	総務企画課長補佐	総務地域振興専門員	地域振興専門員
-----	----------	-----------	---------

叶野 進 井上克浩 鈴木理恵 齋藤 芳

入  
口



傍 聴 席

## 平成28年度 藤島地域主要事業

### (総務企画課)

#### 1 藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業 【詳細：資料2】

昨年開園した藤島歴史公園を核とし、地域を挙げたふじの里づくりを推進するため、フジへの関心とフジの普及を図る「接ぎ木講習会」の開催や、歴史公園等の藤棚育成管理を行なうボランティア団体の技術支援を目的に「藤棚育成指導講習会」を開催する。

また、光による夜の演出を図るべく、藤棚へのイルミネーション設置を年次的に進めるほか、庄内農業高等学校地域連携協議会や地域住民と連携・協働し、公園花壇への花の植栽やプランター設置など、藤島歴史公園の魅力を高め、観光資源として活用を図る。

#### 2 庄内農業高等学校地域連携事業 【詳細：資料2】

庄内農業高等学校地域連携協議会において、教育機関としての同校の発展・充実と、本市食文化創造の取り組みと連携し、生徒が農業や食への関心を高め、農産物や農産加工品の開発など農業の成長産業化に資する取り組みや、県立加茂水産高校と連携した地域振興の取り組みを支援する。

また、山形大学や東北公益文科大学の地（知）の拠点事業等と連携し、地域農業の課題等を研究するとともに、農業や関連産業等への就業と地元定着の促進を図り、関係団体等が連携して地域に貢献する人材や農業後継者の更なる育成を図る。

#### 3 消防施設整備事業

- ・ポンプ庫 1棟（建替え）

#### 4 住民自治組織総合交付金

市から自治組織へ交付している複数の補助金等をまとめて交付することで、自治組織にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として交付する。

#### 5 防犯灯事業補助金

- ・自治組織等が負担する防犯灯の新設及び更新に対する補助金。
- ・自治組織等が負担する防犯灯の維持管理に必要な経費に対する補助金。  
(総合交付金として交付)

## 6 鶴岡市藤島地域総合防災訓練（9月上旬）

鶴岡市地域防災計画に基づき、大規模な災害発生に伴う総合的な訓練を鶴岡市消防団藤島方面隊の分団毎に実施する。

## 7 藤島地区地域活動センター受電・非常用発電設備改修及び リニューアル工事

藤島地区地域活動センターの受電・非常用発電設備の改修および建物外壁、内装等のリニューアル工事を行う。

### （市民福祉課）

## 8 高齢者長寿祝賀事業補助

長年の間、地域社会の向上発展に寄与された75歳以上の高齢者を心から敬愛し、その功績を讃えて感謝の意を表する会を開催する。また、5年間(32年度まで)の経過措置をもって、鶴岡市の補助金単価(最終補助金額1,100円)の統一を図るため、町内会や実行員会と協力し敬老会事業を実施する。

## 9 市立保育園管理運営事業

本市の公立保育園については、指定管理による民営化を進めることを基本とし、今年度より民営化となる藤島こりす保育園の移行期の管理運営への協力と、今後指定管理が予定されている藤島くりくり保育園の民営化の準備を行う。

## 10 人権フォーラム in ふじしま（仮称）開催

平成28年11月30日（水）、藤島地区地域活動センターにおいて、人権フォーラムを開催する。当日は、藤島地域内の各小学校・中学校における人権活動発表、人権書道作品展示、そして直木賞作家の志茂田景樹氏による人権講演会を予定しており、藤島地域内外を問わず多くの方々の参加を呼び掛ける。

## 11 藤島斎場管理運営

年間180体前後の利用実績があり、藤島地域のみならず鶴岡市の斎場業務を担っている。築30年を超える設備、施設ではあるが適切な維持修繕を行いながら管理していく。今年度は1号炉の修繕を予定（予算額2,500千円）している。

## 12 藤島墓園管理運営事業

現在 43 区画の墓地が整備され、すべての区画の利用者が決定している。住民のニーズを把握しつつ、周辺環境に十分注意を払いながら維持管理を行う。

## 13 福祉ワンストップ窓口の推進

福祉機能の集約と庁舎の利活用を図るため、「包括センターふじしま」と「藤島福祉センター」と協議し、藤島庁舎内にワンストップ窓口の開設に取り組んでいく。

## 14 箱わな貸出事業

近年、ハクビシン等の有害生物の被害の報告が多くあることから、その対策や駆除の一助として、藤島地区衛生組織連合会事業として箱わなの貸出しを行い、箱わなにかかる経費の節減とハクビシン被害の撲滅を図る。

### (産業課)

## 15 人と環境にやさしい農業推進事業

【詳細：資料2】

鶴岡市が独自に認証する鶴岡Ⅰ型・Ⅱ型特別栽培米を消費していただいている首都圏消費者や給食関係者等との交流を継続し、人と環境にやさしい農業、安全・安心な農作物への理解者を増やすことにより販路拡大を図る。

平成19年度から始まった東洋大学社会学部藤島調査が、今年で10周年を迎えることから記念行事を開催する。

また、元九州沖縄農業研究センター所長の山川理氏を講師に迎え、つるおか食の創造シンポジウムを9月4日に開催し、健康機能性と栄養価が注目されている葉茎食用サツマイモ「すいおう」の生産、利用の振興を図る。

藤島地域内の小学生を対象に、田んぼの生き物調査と栽培農家による出前授業を継続実施する。

## 16 まつり振興事業

【鶴岡伝統芸能祭開催事業：資料2】

地域の主要な観光事業である「ふじの花まつり」「夏まつり」「秋まつり」を開催する。

5月中旬開催の「ふじの花まつり」は地域外からの来客割合が多いイベントとなっており、25回目となる今回はより地域の特徴をアピールするための新しい企画を立案し、数年後に藤島歴史公園でまつりを開催する検討を行う。

8月第一日曜日開催の「ふじしま夏まつり」は、鶴岡伝統芸能祭、ふじしま焼肉フェスティバルをメインとするまつりで、特に鶴岡伝統芸能祭は市内全域

から伝統芸能団体が集まる貴重な場となっている。今回は更に集客力を高めることと伝統芸能団体の交流を図るため、各団体向けの特別観覧席を設ける予定をしている。

10月最終日曜日開催の「ふじしま秋まつり」は、「つや姫の里の収穫祭」をテーマとして実施されており、機能性野菜「すいおう」をはじめとして、採れたての地域の農産物を販売し、新しいメニューの試食も行う事で「食と農による地域づくり」を広くアピールしていく。

## (東部建設事務室)

### 17 道路公共事業・道路新設改良事業

- ・ 上荒俣北線 交通安全対策および生活道路整備のため、現道を拡幅して舗装する。  
道路改良工 L=350m W=5.5 (7.0)  
H25～H28 完了予定
- ・ 中組下通線 路面の損傷を解消し、通行車両の交通安全のため、現道をオーバーレイする。  
表層改良工 L=320m W=6.0 A=1,920 m<sup>2</sup>  
H27～H29 完了予定
- ・ 池苗代3号線 添川地内の側溝を整備する。  
側溝整備工 L=83m
- ・ 上町中央線 上町地内の側溝を整備する。  
側溝整備工 (函渠) L=15m

## 平成 28 年度

### 地域活性化事業説明資料

人と環境にやさしい農業推進事業	1
藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業	7
鶴岡伝統芸能祭開催事業	11
庄内農業高等学校地域連携事業	14



## 1. 事業の名称

人と環境にやさしい農業推進事業

## 2. 地域の課題

藤島地域は、これまで旧藤島町人と環境にやさしいまちづくり条例に基づき、市民が住んで楽しく、誇りを持てる持続可能な循環型のまちづくりを推進してきた。また、安全・安心な食糧生産基地としての役割を果たしながら、都市と共存できるまちづくりの実現に向けた取り組みを行っている。地方の農業を取り巻く環境が、地域間競争の激化等による米価の下落や先の見えない農業情勢に不安を抱えるなかで、本市が掲げる自然環境に配慮した持続的な農業の展開や、これまで継続してきた安心・安全で高品質な農産物の生産はより重要性を増してきた。合併10年を経過し、より消費者に信頼され愛される農業の確立に努めるとともに、新たな時代に適合した農産物の生産・加工を推進し、食と農による地域の活性化を図らなければならない。

また、大消費地における消費者の食の安全に対するニーズが高まっているため、継続性のある都市交流を継続することで相互の信頼関係を強化し、循環型農業の重要性を理解、醸成していくことが課題である。

## 3. 事業の目的

本地域が推進するエコタウンプロジェクトと関わりの深い東洋大学社会学部等と連携し、地域の魅力や人と環境にやさしい農業の価値を内外にPRするとともに、地場産の農産物の機能性や有効性を「つるおか食の創造シンポジウム」を開催することで市民にアピールし、新たな食の創造を図ることを目的とする。

## 4. 事業の内容

(1) 都市消費者等との交流による、人と環境にやさしい農業・農産物の価値の理解促進

### ①東洋大学社会学部社会調査10周年記念講演の開催

藤島地域では、平成19年より東洋大学社会学部が授業の一環として社会調査及び報告会を行っている。

同大学では、年2回の調査・報告会以外にも、藤の花まつり、ふじしま夏まつり、ふじしま秋まつり等の地域イベントに9年間で述べ350人の学生が自主協力で来鶴している。

また、藤島地域の特別栽培農家が、練馬区光が丘地区祭に17年間に渡り参加しており、東洋大学生が、市独自認証米のPR等に協力しているほか、姉妹都市や在京ふるさと会イベントにおいても積極的な協力を行っている。

これらの次代を担う若者の自主協力が、地域に与える活性効果は極めて高く、鶴岡の力強い応援団となっているため、「都市と地方との共生」をテーマにした10周年記念講演を開催し、市民が鶴岡の魅力を再発見するとともに、活動を全市的に拡大していく。

## ②都市消費者等との交流による人と環境にやさしい農業の理解促進

本市が認定認証している独自特別栽培米は、これまで横浜市みどり保育園グループや港区小学校の学校給食において提供されてきた。給食の提供だけでなく、市内での田植え稲刈り体験や練馬区光が丘の4つの小学校及び足立区小学校において出前授業を行い、安全で安心なお米生産について理解促進を図っている。これらの関係者に引き続き市独自認証米の使用拡大を依頼するとともに、関係する都内米穀店も含め周辺への販路拡大協力を依頼する。

### (2) つるおか食の創造シンポジウムの開催及び「すいおう」の生産・利用の振興

#### ①つるおか食の創造シンポジウム開催事業

本地域では平成16年より機能性野菜「すいおう」の生産拡大を図り、地産地消と農産加工品の開発商品化を推進してきた。

鶴岡市及び一般財団法人自治総合センターが主催する「つるおか食の創造シンポジウム ～地域における機能性野菜の発展を考える～」を開催する。

#### ②機能性野菜の生産・加工利用の振興

地域特産物倉庫出支援事業により機能性野菜のパウダー加工等へ補助する。

### (3) 田んぼの生き物調査の実施

藤島地域の小学生を対象に、田んぼに生息する生き物を調査し、地域の豊かな自然環境を再認識するとともに、持続性のある農業と安全・安心な農産物を生産することの必要性に対する理解を深める。

## 5. 事業の効果

本市が推進する人と環境にやさしい農業の価値が内外において理解され、消費者から信頼される“安全・安心な食糧生産基地”と認められることにより農産物の販路が拡大する。

また、地域の農家が楽しく誇りをもち安全で良質な農産物の生産活動に励むことができようになり、地域住民も鶴岡市の農業に誇りを持つことができる。

# 人と環境にやさしい農業推進事業

## 1 都市消費者との交流による、人と環境にやさしい農業の理解促進

### (1) 東洋大学社会学部「藤島調査」10周年記念事業の開催

東洋大学社会学部では、平成19年度より鶴岡市藤島地域の社会調査「藤島調査」を開始している。同調査は現在も継続して行われており、各調査分野ごとに住民の意識等を調査し、毎年2月に住民及び関係者に報告会を行っている。

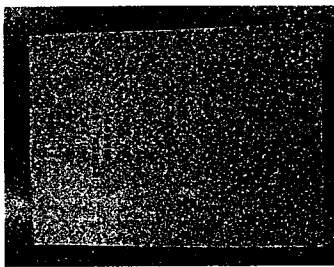
また、授業にとどまらず、地域に協力したいという思いから9年間に述べ350人の東洋大学生が藤島地域の応援者として来鶴し、地域内での様々なイベントにおいてボランティア協力を行っているほか、藤島地域が首都圏イベントで行う、市独自認証米のPRなどにも参加するなど、地域の活性化に多大な貢献を行っている。平成28年度に「藤島調査」が10周年を迎えるにあたり、記念事業を開催し、交流促進を図るとともに市民へ広く活動を周知する。



平成27年度社会調査(H27.9)



平成26年度報告会(H27.2)



調査報告書

### 東洋大学社会学部の地域活動への自主協力(ボランティア)



平成27年度ふじま夏まつり(30名)



平成27年度ふじま秋まつり(8名)



平成27年度練馬区光が丘地区祭(10名)

### ○社会調査及びボランティア 来鶴数

イベント名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
社会調査	39	37	35	37
社会調査報告会	29	42	31	
ふじの花まつり	0	0	5	0
ふじま夏まつり	20	19	37	30
ふじま秋まつり	4	5	2	8
首都圏イベント	10	26	11	10
合計	102	129	121	85

(2)人と環境にやさしい農業の理解促進

藤島地域で推進している人と環境にやさしい農業への理解促進と、生産される農産物の価値の理解促進のため、練馬区光が丘春の風小学校、夏雲小学校、秋の陽小学校、四季の香小学校において、有機栽培及び市独自栽培米の生産農家が出前授業を開催した。(対象児童数:4校 350名)また、足立区大谷田小学校及び米穀店へ栽培農家が訪問している。



練馬区光が丘春の風小学校



練馬区光が丘夏の雲小学校



練馬区光が丘秋の陽小学校



練馬区光が丘四季の香小学校

現在も継続して鶴岡 I 型栽培米を給食で使用している横浜市のみどり保育園グループの田植え、稲刈り体験に栽培農家が参加した。今後も継続して利用を依頼するためPRを行った。(児童数220名)



## 2. 機能性野菜すいおうの生産・利用の振興

8月2日ふじしま夏まつりでは東洋大学社会学部すいおう研究チームが冷製スイーツ150食の試食提供を行った。8月27日地産地消料理教室においては参加者が地元産のすいおうを収穫した後、食の都庄内親善大使 太田政宏シェフがすいおうパウダーを使用した料理講習を行った。(参加者12名)



料理教室で使用するすいおうを生産農家の圃場で収穫体験している。

食の都庄内親善大使 太田政宏シェフによるすいおうを使用した地産地消料理教室

ふじしま夏まつりにおいて、東洋大学生がすいおうの水菓を考案し提供提供した

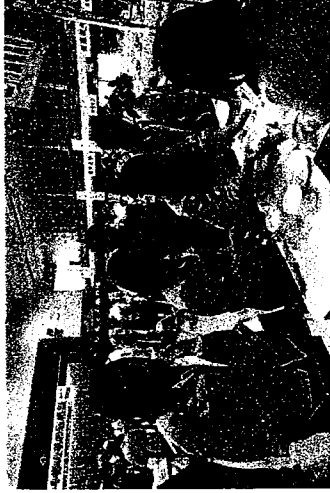
9月25日に開催された、つるおか食の祭典においては、女性3団体(食生活改善協議会藤島地域、藤島地域婦人会、JA庄内たがわ女性部)が3種類300食のすいおう料理を試食提供したほか、東洋大学社会学部が、すいおう料理200食、庄内農業高等学校がすいおうパウダーを使用したシフォンケーキを提供した。また、同イベントのシェフのおすわけコーナーでは食の都庄内親善大使の太田政宏シェフがすいおうパウダーを使用した試食料理を200食を提供したほか、今年新たに企画されたじもと名店の味ではすいおうを使用した一品が加えられた和風弁当150食が提供されている。



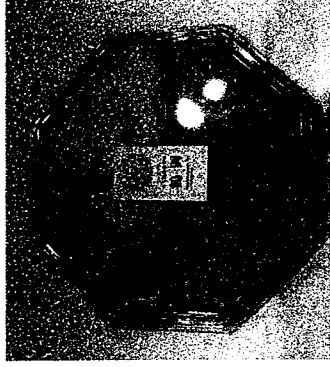
藤島地域女性団体が、つるおか食の祭典ですいおう料理の試食を提供している。」



食の都庄内親善大使が、シェフのおすわけコーナーですいおうパウダーを使用した料理を提供した。



庄内農業高等学校は、生徒が栽培したすいおうを使用したシフォンケーキを提供した。



じもと名店の味で提供されたすいおうも使用された和風弁当

### 3 たんぼの生き物調査

本地域に残る豊かな自然環境を再確認するとともに、環境にやさしく、持続可能で安全・安心な農産物を生産することの必要性の理解を深める。さらに、農業や農村が持っている環境保全をはじめとする多面的な機能の重要性を改めて見直す機会とする。

藤島地域内の小学生を対象に、たんぼ内に生息するイトミミズをはじめとする様々な生物の調査を実施し、関団体・個人との相互協力の構築と強化を目指し、環境持続型農業の普及拡大とその推進を目的とする。

また、この調査結果の一部は「生物多様性農業支援センター」と連携しデータを共有するとともに、関係機関・関係団体・個人との相互協力の構築と強化を目指し、環境持続型農業の普及拡大とその推進を目的とする。

#### 調査協力

- ① 鶴岡市立 藤島小学校 6月18日 57名
- ② 鶴岡市立 東栄小学校 6月24日 11名
- ③ 鶴岡市立 長沼小学校 6月22日 4名
- ④ 鶴岡市立 渡前小学校 6月23日 14名



東栄小学校生き物調査



藤島小学校生き物調査



ラインセンサス調査



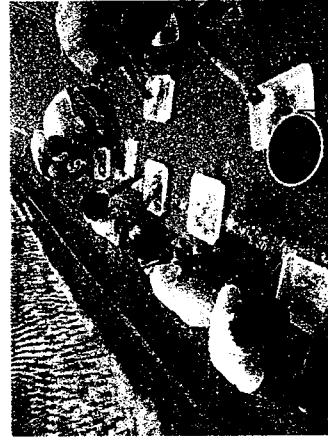
カエル調査



有機栽培農家のお話



渡前小学校生き物調査  
コドラートによる土の採取



生き物調査



有機米おにぎりの試食

## 1. 事業の名称

藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

## 2. 地域の課題

平成27年7月、藤島庁舎西隣に「藤島歴史公園」が開園した。この公園を藤島地域のシンボルとして、またテーマ性のある重要な観光資源と位置づけ、その活用を図ることが地域振興の重要なテーマである。特に、藤が開花する3～4年後に照準を合わせ、フジの花見時（5月中旬）の夜間ライトアップや、オフシーズン時（秋から冬場）にイルミネーション等を設置し、フジ公園としての魅力アップを図り、地域・観光団体・行政・ボランティア等が連携して、まつりやイベントを開催するなど、地域の特性を最大限に活かした「観光拠点づくり」が重要である。

併せて、同公園内に位置する東田川文化記念館と連携し、歴史公園を活用したイベントの開催や、フジが開花するまでの3～4年は、庄内農業高等学校と連携し地域協働の公園美化活動に取り組むなど、地域一体となった公園づくりが求められている。

また、藤棚の育成・管理をボランティア団体が担うこととしており、観光資源として公園を活用するうえで、当該ボランティア団体への専門家による技術指導や育成強化が喫緊の課題となっている。

市民パートナーズの理念のもと、地域協働のまちづくりをより一層推進するため、イルミネーション等の設置作業や、公園・観光ボランティア等の育成・拡充が今後の課題である。

## 3. 事業の目的

フジにこだわった「藤島歴史公園」の開園を契機に、フジの魅力を体感できる里となるよう各種取り組みの展開や魅力創出により、交流人口の拡大を図るとともに、同公園や公共施設の藤棚の維持管理を地域協働の取り組みとして推進し、地域内外にフジ公園の魅力を発信することにより、魅力ある活気あふれる、ふじの里づくりに向けた施策の展開を図る。

## 4. 事業の内容

### (1) 藤棚管理技術習得講習会等の開催

歴史公園を今後、テーマ性のある観光資源として活用を図るためには、藤棚管理の専門家（アドバイザー）による技術指導が不可欠であることから、専門家を招聘し、つるの伸ばし方や剪定方法、施肥や病害虫予防対策など、育成に係る管理技術の習得を目的とするボランティアへの技術指導・助言を得る講習会を開催する。公園内の藤棚は、フジのカーテンを想定した高さ3mの大藤棚や、長さ33mと54mの2箇所の特大型藤棚、また、柵上にフジを這わせて手前の池にフジを映し出すスクリーン型藤棚など計5基の藤棚が設置されており、年間を通してボランティアが適正な藤棚育成管理を行うために、指導業務を委託する。

## (2) フジの接ぎ木講習会の開催

フジは播種から開花まで20年程かかり、穂木を台木に接ぎ木することで3～4年程で花を楽しめることから、市民が家庭で鉢植え栽培ができるよう接ぎ木講習会を開催してふじの楽しみ方を普及する。教材の台木となる苗の育苗を「障がい福祉サービスマスター」に依頼し、指導を「藤管理団体ボランティア等」に依頼する。

## (3) 藤島歴史公園美化事業

フジは、定植後3～4年は成長するつるを柵に伸ばし仕立てる時期であり、花が咲かない期間においても地域一体の公園づくりと魅力アップを図るため、地域住民等のボランティアによる公園美化活動を行う。県立庄内農業高等学校の生徒が実習で育てた花苗を同校生徒と地域住民との協働の取組みとして、花壇への定植活動と花苗プランター設置を行う。

## (4) 藤島地域藤柵育成・管理ボランティア団体育成補助

街路や公共施設に設置された藤柵の育成・管理をおこなうボランティア団体の活動を支援するため、ふじの里づくりの推進に資するボランティア団体の活動に対して補助金を交付する。

## (5) 藤島歴史公園ライトアップとイルミネーションの設置【新規】

公園をテーマ性のある観光資源として活用するため、フジの開花時期でのライトアップや、フジのオフシーズン（11月から12月）に、カーテン型やつらら型のイルミネーションを設置し、地域内外に公園の魅力を発信する。イルミネーションの設置にあたっては、ボランティアによる設置を念頭に、設置手法等の検討を行う。

## 5. 事業の効果

藤島地域の新たなシンボルとなる藤島歴史公園において、庄内農業高等学校と連携した公園花壇等の地域協働美化活動や、ボランティア団体による藤柵の地域協働管理の推進、東田川文化記念館と連携した文化・歴史の情報発信やイベント等の開催を通して、地域一体となった公園づくりを行うことができる。また、藤の花見時と花見時以外でも、ライトアップ等によるテーマ性のある公園として整備し、地域内外にその魅力を発信することにより、誘客と賑わい創出による地域の活性化を図ることができる。



## 藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

### ① 藤島管理技術習得講習会等の開催

藤島の完成状態を想定した、つるの伸ばし方や剪定方法、施肥や病虫害予防対策など、育成に係る管理技術の習得を目的とした、ボランティアへの技術指導・助言を得る講習会を開催する。(事業開始 H26) ※H26 招聘実績なし

○ 藤島管理技術習得講習会：平成 28 年 3 月 2 日 (水) アドバイザー：(株)環境緑化研究所 代表取締役 塚本こなみ氏

○ ふじの里づくり講演会：平成 28 年 3 月 3 日 (木) 講師：同上

### ② フジの接ぎ木講習会の開催

地域へのフジの更なる普及を図るため、地域の公共施設の藤棚より採取した数種類のフジの穂木を台木に接木し、盆栽仕立てのフジを楽しむための講習会を開催する。藤島地域の総世帯数に占める藤の普及率は、平成 22 年度末で 55% (※) となっている。ふじの里づくり推進のため、日本一ふじの里づくり推進委員会より講師を招き、開催する。○ H27 年度参加人数 10 名 (事業開始：旧町より実施)

・ 穂木の種類：八重黒龍 (紫)・甲比丹 丸タン (紫)・白野田藤・野田藤・口紅藤 (ピンク)

(※) 藤の植木鉢贈呈世帯数累計 (平成 13 年度～22 年度まで)：287 世帯…①

平成 10 年度末：旧藤島町世帯数 3,003 世帯、藤所有世帯 1,440 世帯…②普及率 48%

平成 22 年度末：藤島地域世帯数 3,144 世帯、藤所有世帯 ①+②1,727 世帯) 普及率 55%

### ③ 藤島歴史公園美化事業

生徒が育てた花苗を公園花壇等に定植し、市及び関係団体で組織する「庄内農業高等学校地域連携協議会」が取り組む地域連携事業以外でも、本事業において公園の緑化事業に取り組み。(※事業開始 H27)

○ 平成 27 年度開催状況 ・ 苗の種類：数量：7 種類、500 苗

○ 参加者：庄内高生徒・教諭 18 名、藤島地域住民 50 名 東田川文化記念館職員 3 名ほか計 75 名

### ④ 藤島地域藤棚育成・管理ボランティア団体育成補助

藤島地域のふじの里づくり推進のため、地域の街路公共施設等に設置している藤棚の育成・管理に取り組みため、ボランティア団体の活動を支援する補助金を交付する。(※事業開始 H25)

補助金交付要綱：別添 (H25. 10. 31 告示第 458 号)

※平成 27 年度の交付状況：補助交付団体 2 団体 (鶴岡藤友会・藤を守る会) 2 団体計 46,000 円

平成 26 年度の交付状況：" 2 団体 (鶴岡藤友会・藤を守る会) 2 団体計 28,100 円

平成 25 年度の交付状況：" 2 団体 (鶴岡藤友会・藤を守る会) 2 団体計 26,400 円



## ○栃木県あしかがフラワーパークについて

園のシンボルである大藤は日本の女性樹木医第一号である塚本こなみ氏によって移植され、大藤(樹齢 130 年)の移植は前例がなく常識を超えた移植プロジェクトに全国から注目を集め、日本で初めての成功例となりました。

大藤 4 本(野田九尺藤 3 本、八重黒龍藤 1 本)と 80m におよぶ白藤のトンネルは栃木県天然記念物に指定されており、これらが見頃を迎える 4 月中旬から 5 月中旬の 1 ヶ月間は「ふじのはな物語〜大藤まつり〜」が開催されます。

また 10 月下旬より開催されるイルミネーション「光の花の庭」は夜景コンベンションビューローが認定する関東三大イルミネーションに選ばれ、2014 年には全国 4,300 名の夜景鑑定士が選ぶ全国イルミネーションランキングにおいて、イルミネーション部門で全国 1 位を獲得。四季折々、数多くの花々で彩られており年間で 100 万人 以上の来園者が訪れます。

## ○塚本こなみ 氏について

プロフィール 環境緑化コンサルタント (静岡県浜松市在住)

樹木医 (登録No.125) 日本女性樹木医第一号  
一級造園施工管理技士

(会社) 株式会社 環境緑化研究所 代表取締役

公益財団法人 浜松市花みどり振興財団 理事長

(仕事) あしかがフラワーパーク大藤移転及び設計・緑化コンサルタント

山形県飯豊町どんでん平ゆり園実施設計及び運営指導、世界園芸博覧会、浜名湖花博庭文化創造館・ガーデンテラス設計・施工、  
京都府 平等院藤育成指導 他多数



## ○本市での講演会について

平成 24 年 3 月 28 日、平成 23 年度市地域活性化事業(ふじの里魅力アップ事業)により、塚本こなみ氏を講師に招聘し、日本一ふじの里づくり講演会「藤の老木に命を教わる」と題し、東田川文化記念館明治ホールを会場に、講演会を開催した。  
また、藤島地域藤棚を利用して、現地技術講習会も併せて開催した。

## ○藤棚管理ボランティア団体の技術指導歴について

藤棚管理ボランティア団体「鶴岡藤友会 代表深澤一雄」 H23. 4. 1. 設立

平成 23 年度 先進地技術研修 栃木県足利フラワーパークを訪問

平成 23 年度 市主催技術講習会に参加(藤島地域) 上記講演会来藤時技術指導

平成 25 年度 先進地技術研修 静岡県浜松市

株式会社 環境緑化研究所 塚本こなみ代表取締役を訪問

## 1. 事業の名称

鶴岡伝統芸能祭開催事業

## 2. 地域の課題

藤島地域では、添川両所神社をはじめ6つの獅子舞（踊り）と古郡、長沼及び六所神社の3つの神楽が伝承されている。少子高齢化の状況は、藤島地域においても他地域同様に進んでおり指導者の高齢化や継承者の不足、勤務形態の多様化によりいずれの保存会も苦慮している状況にある。

こうした中において、この伝統芸能の伝承は大きな意義を持っている。実際に若者が地域に誇りや愛着を感じるうえで、獅子踊りや神楽を舞い、地域の祭典や行事に参加することは通常のコミュニティ活動では味わえない、人と人をつなぐ効果的なものであり、達成感や地域での存在感を得ることができ数少ない場となっている。したがって、後継者育成にとどまらない地域コミュニティを維持継続していくうえで重要な施策といえる。

## 3. 事業の目的

国指定重要無形民俗文化財「黒川能」には及ばないものの、鶴岡市内各地に「獅子踊り」や「神楽」等、地域で頑張っている郷土芸能が多数存在している。「鶴岡伝統芸能祭」は、こうした団体に光を当て、神社境内ではない会場で一同に会し多くの観客に見ていただくことにより、地域外からの誘客による地域活性化、村祭りでは味わえない出演者のやりがいや誇りにつながる「場」の提供、そして同じ悩みを抱える保存会同士の交流機会を作ることにつながる、大変意義あるイベントとなっている。

## 4. 事業の内容

ふじしま夏まつりで開催されてきた伝統芸能祭を、鶴岡市内各地の伝統芸能を招致して鶴岡市を代表するまつり「鶴岡伝統芸能祭」として開催するとともに、地域外からの集客のためにPRを行う。

第1部では、藤島地域内で活躍する団体や小中学生・園児より6団体ほど出演いただき、活動の場を提供するとともに広く集客を図るととし、第2部では、藤島地域の獅子踊り・神楽と他地域から1団体ずつ、合計8団体ほど出演いただき、伝統芸能を広く紹介するとともに地域の活性化と伝統芸能の育成を図ることを目的としている。

## 5. 事業の効果

榊引地域の「蠟燭能」「たきぎ能」や温海地域の「せせらぎ能」のように「能」による競演はあるものの、能以外の伝統芸能が一堂に会する場は少ない。

① 鶴岡伝統芸能祭の開催は、藤島地域内外からの集客につながり、地域内のにぎわいをつくり、見ごたえのある伝統芸能祭の鑑賞ができ

ることにより、地域の顔となる祭りとして地域活性化につながるものである。

- ② 継続して開催することにより内外から認知される祭りとなり、出演者の自負も高まりとともに、地域外の伝統芸能との競演により相互に継承意識の高揚にもつながる。
- ③ 若い出演者にとって、伝統芸能の継承に貢献することで地域への誇りと愛着が生まれ、さらには世代間交流により、将来的に地域コミュニティの担い手としての活躍が期待される。

## 鶴岡伝統芸能祭開催事業

平成25年度より地域活性化事業予算からの補助をいただき、これまでの「庄内伝統芸能祭」から「鶴岡伝統芸能祭」と名称を変更して開催、平成27年度で3回目の開催となる。(伝統芸能祭は通算14回目)

第10回目となる平成23年度は(財)地域活性化センターより『合併市町村住民組織活性化支援事業助成』をいただき同規模の伝統芸能祭を行った。

### これまでの参加団体について

団体名称	地域	H23	H24(単独開催)	H25	H26	H27
湯田川温泉神楽	鶴岡	○			○	
大山いざや巻き	鶴岡					○
高寺八講	羽黒	○		○	○	
荒川八幡神社神楽	羽黒					○
天狗舞獅子舞(上山添)	櫛引			○		
天狗舞獅子舞(松根)	櫛引				○	
丸岡桐箱踊り	櫛引	○				
田麦俣三山神楽	朝日	○			○	
祥雲御山太鼓	朝日			○		○
念珠関弁天太鼓創成会	温海		○		○	
五十川神楽	温海	○		○		○
あまるめ飛龍太鼓	余日			○		

※藤島地域は以前と同様に子どもと団体が5団体前後、大人の団体が6団体前後出演しており、毎年の出演団体は合計16団体前後となっている。



天狗舞・獅子舞 (櫛引地域)



太鼓演奏 (朝日・温海地域)

## 1. 事業の名称

庄内農業高等学校地域連携事業

## 2. 地域の課題

庄内農業高等学校は、地域農業を担う人材養成機関として100年以上にわたって、庄内地方の農業振興に貢献してきた。近年は、少子化に伴う高校再編が懸念されており、地域関係機関団体が連携して同校の発展と地域活性化に資するべく、平成25年6月に庄内農業高等学校地域連携協議会が設立された。地域農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や離農者の増加など厳しい現状であり、同協議会を中心に、農業及び関連産業等への若者就業や地元定着を促進する取り組みを推進し、本市のユネスコ食文化創造都市の高度ブランド化や農林水産業の成長産業化に寄与する人材を育成し、地元定住の促進による人口減少の抑制や、地域特性を活かした地方創生の実現が、地域創生に向けた喫緊の課題である。

## 3. 事業の目的

平成25年度に庄内農業高等学校、出羽商工会、庄内たがわ農協、県庄内水田農業試験場、県庄内総合支庁農業技術普及課、町内会連絡協議会、農業生産者組織など、地域の関係機関、団体等により、庄内農業高等学校地域連携協議会が設立された。

協議会では、同校の教育機関としての発展・充実と、地域振興に寄与する取り組みを支援し、同校生徒が農業と食への理解・関心を高め、農産物の販売や農産加工品の開発など農林水産業の成長産業化に資する取り組みを推進する。また、加茂水産高校と連携した特産品開発や、鶴岡発の戦略的かつ創造的な食文化を担う取り組みにより、地域農業及び関連産業等への就業と地元定着を促進し、地域に貢献する人材および農業後継者を育成する取り組みを推進し、活力ある地方創生に資する。

## 4. 事業の内容

地域の農業関連資源及び高等教育機関と連携し、地域振興及び地域に貢献する人材、農業後継者の育成を図る取り組み等について、庄内農業高等学校地域連携協議会がおこなう事業に対し、補助金を交付する。

(事業内容)

- ①米粉等加工品の製造・販売支援事業（米粉シフォンケーキなどの製造・販売）
- ②シルク加工品の商品化支援事業（シルクを利用したゼリーなどの商品化支援）
- ③麺類等の製造・販売支援事業【新規】（加茂水産高校と連携した庄農うどんと加茂水産高だしつゆの開発・商品化）
- ④伝統野菜等の栽培・研究等事業（すいおう、ふじしま大根、外内島きゅうりの栽培研究・加工品等開発）

- ⑤農業コンテンツ出品・PR支援事業（全国お米甲子園等への出品支援）【新規】
- ⑥農高出前講座・地域農業研究WS事業（JA出前講座、山形大学農学部講座開催、地（知）の拠点（東北公益文科大）と連携した地域農業を研究するワークショップなど）【新規】
- ⑦花による地域協働美化事業（藤島駅ロータリーでの町内会等との協働美化活動）
- ⑧地域公開講演会開催事業（農業の新たな取組み・地域農業の再認識に繋げる講演会開催）
- ⑨広報事業（庄農通信の地域内全戸配布、公開行事・公開講座の地域内回覧、庄農連携事業パンフレット及び庄農サマーカーキャンプ（中学生入学生体験）用PRチラシ等の作成・配布）
- ⑩地域交流農園事業（グリーンライフ授業（市民農園の運営学習）として整備した地域交流農園を活用し、社会福祉協議会など福祉団体等と連携した交流活動を行う）
- ⑪県立加茂水産高校コラボ事業（主要観光施設での販売を目的に、同校と連携した特産品・グッズ等の開発・商品化）【新規】

## 5. 事業の効果

庄内農業高等学校地域連携協議会では、食文化創造都市の推進や農業の6次産業化、成長産業化の取り組みを支援し、地域に貢献する優れた人材や農業後継者の育成を図り、農業への若者就業や地元定着を促進する。また、同校と行政、地域、団体等がさらに連携を強め、高等教育機関との地（知）の連携を活かし、農業を専攻する優れた人材の育成や、地元就業し地域を担う若者を育成し、同校の教育機関としての更なる発展・充実と次代を拓き活力ある地方創生に寄与する。

# 庄内農業高等学校地域連携事業

## (1) 米粉等加工品の商品化支援事業

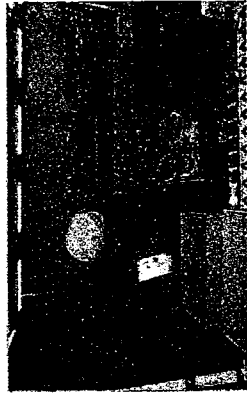
米粉シフォンケーキやシルクを使った菓子製造の商品化をめざし、米粉を使ったシフォンケーキ（取組み3年目）は、平成27年秋に地域産直施設の菓子製造室を使用し製造・販売予定。



写真：米粉シフォンケーキ等の製造学習

## (3) 先進的農業等現場研修事業

食品製造を学習する生徒に、農業法人や食品関連産業での現場研修の機会を提供し、現場研修を通じ、地域への理解を深め、進路選択の参考とするなど4事業所を訪問。



写真：農業法人等での現場研修の様子

## (5) 地域公開講演会開催事業

外部講師を招へいし、生徒と地域住民が一緒に地域と農業を見直すきっかけとなる講演会を庄農高で開催。



写真：先駆的農業者を招聘したH26地域公開講演会（奇跡のりんご）

## (2) 伝統野菜等の栽培研究事業

ふじしま大根（伝統野菜）やすいおう（機能性野菜）を地域栽培農家指導のもと、栽培し、すいおうは産直菜々へ販売。市内伝統野菜（外内島さゆうり）の研究予定。



写真：栽培農家先でのふじしま大根の種取り

## (4) 花を活用した地域美化事業

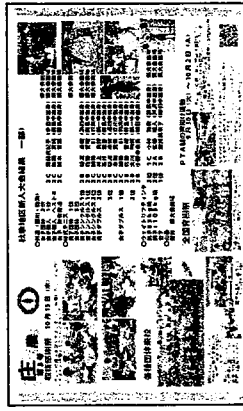
地域町内会と協働で、地域の玄関口である藤島駅前ロータリーに設置する花苗プランターの製作と設置を行った。管理（水かけ）は町内会老人クラブが行っている。



写真：藤島駅前ロータリーへの花苗プランター設置

## (6) 広報事業

地域の庄農高への関心の喚起、支援等の意識醸成を図るため、庄農高の取組みを紹介する広報物の地域内回覧等を行う。



写真：庄農通信

## (7) 地域交流農園事業

グリーンライフ授業（市民農園運営学習）による地域交流農園を整備し、地域住民と作物栽培に取り組む。



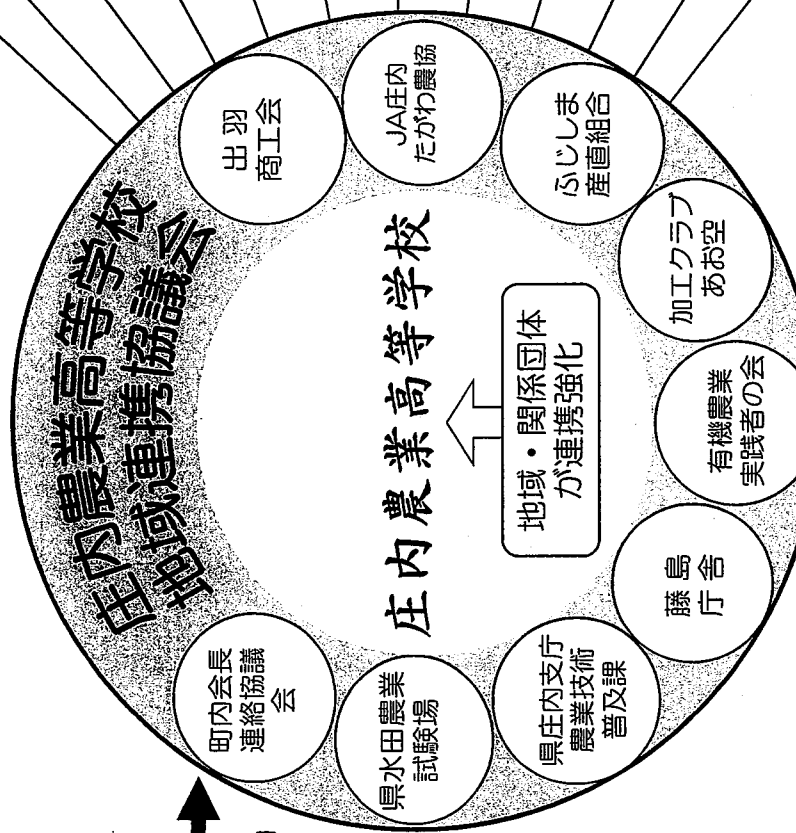
写真：整備中 交流農園の様子



# 庄内農業高等学校地域連携事業



鶴岡市  
補助金  
地域連携事業への補助



- (1)米粉等加工品の製造販売
- (2)シルク加工品の商品化
- (3)麺類等の製造販売
- (4)伝統野菜等の栽培・研究
- (5)農業コンテスト 出品・PR
- (6)農高出前講座 地域農業研究WS
- (7)花による地域協働美化(藤島駅)
- (8)地域公開講演会
- (9)広報・行事回覧等
- (10)賑わいマルシェ・食文化レゾ・考案・PR
- (11)地域交流農園 農と福祉の連携
- (12)加茂水産高校とのコラボ・特産品開発

農業への若者就業地元定着を促進

**藤島地域 振興計画 (H26年3月策定)**  
 藤島に集積する農業関連施設やエコタウンの取り組みなど農業の先駆的な地域としての特性を生かし、農業関連資源を活用した地域振興の実現を目指す

地域連携協議会 H25年6月設立  
 目的：地域の特性を活かした農業振興と一体となった地域づくりの推進

教育機関としての庄内農業高等学校の活用(地域・関係団体の連携強化)により、市の経済、文化を発展・促進し、地域に貢献する人材・農業後継者を育成  
 農水産業の成長産業化の推進  
 食文化創造都市の推進・多様化  
 農業の6次産業化を推進  
 農産加工品開発と地域経済の高付加価値化

人口減少の抑制  
 活力ある地方創生